真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年4月23日

事務事業名	学校給食センター運営事業	担当課・係	教育委員会　学校給食ｾﾝﾀｰ　第一・第二学校給食センター
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連するSDGs･DX	 DX
施策名　No	2　心の教育と健やかな体づくり		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	給食が好きな児童・生徒の割合	%	75					
	食育の授業回数	回数	211					

事業内容

安全で安心な給食を提供するため、児童生徒の健康な成長に必要な栄養のバランスに配慮しつつ、詳細な献立の配布やアレルギー対応食の提供を行う。
児童生徒が健全な食生活を実践できるよう、給食時や学級活動において、学校栄養教諭等による食育を推進する。
施設・設備を正常に保つための保守点検、定期的な清掃やメンテナンスを実施する。

前年度の課題（Check）

・第二学校給食センターの厨房機器について、食数増加に対応できるようボイラーの一部機器については入れ替え工事を行ったが、今後も老朽化による施設・設備の故障等に対応する必要がある。
・第二学校給食センターの空調・水回り・シャッター等が故障している。また、照明器具についても更新時期が来ておりLED化をする必要がある。
・第一学校給食センターにおいても、今後定期的なメンテナンス作業が生じてくる。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
・旧第一学校給食センターの解体工事
・旧第一学校給食センター敷地外埋設管撤去工事
・第二学校給食センターのボイラー交換工事
・アレルギー対応食(卵と乳のアレルギー除去食)の提供
・学校給食センター施設・設備を正常に保つための維持管理
・食育の推進

【2】結果と課題（Check）
旧第一学校給食センターの解体工事等を実施し、第一学校給食センター整備事業が完了した。
また、第二学校給食センターのボイラー交換工事については、給食の提供に影響が出ないよう、夏休み期間中に工事を実施し完了した。
普通食給食とアレルギー対応食給食の提供及び給食センター施設・設備を正常に保つための維持管理、今後定期的なメンテナンスが生じてくる。
食育により食への関心や健康意識は向上している一方、継続的な取り組みや家族への働きかけが課題となっている。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
施設・設備を正常に保つための維持管理として、保守点検、定期的な清掃やメンテナンスが必要となる。
小さな不具合の段階での対応により、大規模修繕や交換費用コストを抑えることができるため、設備の劣化や異常を早期に発見し大きな事故を防ぐ。
第二学校給食センターの故障している空調、水回り、シャッター、照明器具について、夏休み期間中に更新修繕を行う。
アレルギー対応食について、他市の先進事例を調査する。

（2）長期的な計画で検討すること
令和２４年度を目途に、第二学校給食センターを第一学校給食センターに統合する計画としているが、児童・生徒数の減少により早まる可能性があるため、第二学校給食センターの活用について検討していく。
現在卵と乳のアレルギー除去食の提供を行っているが、今後のアレルギー対応食のあり方(代替食、品目数)について検討していく。